

# いずみざき

議会だより No.58

令和5年11月1日発行



## 輝く未来を子ども達へ

女子バスケットボール部  
中体連県大会 3位



いずみちゃん

### 目次

- 表紙 …… 泉崎中学校
- 2～3 ページ …… 9月議会定例会報告・令和4年度の決算報告
- 4～7 ページ …… 4名の議員が村政を問う
- 8～10 ページ …… 議会インフォメーション～議会構成決まる～  
編集後記

泉崎村HPアドレス : <https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

# 認定！ 決算総額 36億6,875万3,000円

3億5,195万9,000円の黒字決算に

村では財政の健全化継続に向けた努力の跡が認められるが、補正予算時に処理することが望ましい不用額をそのまま残しているケースも散見されるので、適正な予算執行の観点から、予算残額の確認についても取り組んでいただきたい。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症に伴うまん延防止等の重点措置の解除、感染症2類から5類へ移行され、従来の生活様式や社会経済活動の正常化が進むと考えられているが、依然として財政の負担増、村税等の減収も見込まれ、人口減少による少子化対策、高齢化等による社会保障費の増大、公共施設等の維持管理費などの負担が見込まれること。更にロシアのウクライナ侵攻がもたらす原油・穀物などの価格高騰や円安等による物価高が進行していることから、今後も長期的な視点に立つてより一層健全なる財政運営に努められるよう望むものである。

○翌年度へ繰り越す事業は

10事業 5,087万8千円

歳出総額 36億6,875万2,607円

監査委員 意見（抜粋）



代表監査委員 箭内達秀氏

## 令和4年度 重点事業内容（抜粋）

### 出産祝品贈呈事業

486万円



第1子以降の出生児を祝福し、健全で健やかな成長を期待し出産祝品を贈呈する

### 防犯灯設置事業

89万円

（村内各地から要望の多い防犯灯設置に対応する為、予算を確保し増設）

非常備消防費（消防団員報酬を見直し）822万円  
（消防団員報酬を見直し白河・西白河地内で統一する）

非常備消防費（消火栓ボックス内ホース更新）376万円  
（経年劣化の使用に耐えない消火栓用ホース140本分）

非常備消防費（消防活動器具購入）131万円  
（消防活動に使用する器具の整備）

### 米価下落緊急支援事業

588万円

（令和4年度産用の水稲種子購入代金の1/2補助）

### 農業者向け物価高騰支援事業

1,049万円

（令和3年度に農業申請された経費の補助）

### 第71回地方植樹祭

135万円

（令和4年度に泉崎村で開催）

### 泉崎仮置場原状回復工事

1,849万円

（中核工業団地内の仮置場の原状回復工事）

### 敬老祝金支給事業



510万円

（75歳以上の高齢者に対する祝金：1,020名分）

### 一戸建賃貸住宅建設事業



（天王台8号棟）

1,709万円

### 家庭保育交付金事業

185万円

（第2子以降で保育サービスを利用せず家庭で養育されている3歳までの者に、月5,000円を支給：受給世帯35件）

### 給食費無償化事業

4,330万円

（給食費を無償化し子育て世帯の家計を支えることで家庭教育の充実を促す）

### 基礎学力向上推進事業

874万円

（検定料の助成、放課後学習、土曜学習会等）



# 令和4年度決算を

( / : 議長は採決に加わりません )

議案番号	議 案 件 名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		可・否	鈴木 盛利	小針 辰男	白石 正雄	廣瀬 英一	鈴木 義男	飛知和 良子	木野内 悟	野崎 隆	岡部 英夫	鈴木 清美
認定第1号	令和4年度泉崎村歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
認定第2号	令和4年度泉崎村水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
認定第3号	令和4年度泉崎村工業用地造成事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
認定第4号	令和4年度泉崎村住宅用地造成事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
報告第6号	令和4年度決算に基づく健全化判断比率等の状況について 実質公債費比率7.2%(3カ年平均)前年度同様	報告 受理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第7号	村が資本金を出資している法人の経営状況に係る書類提出の件 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、泉崎観光株式会社の第34期の経営状況の報告を受けたもの	報告 受理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第8号	村が資本金を出資している法人の経営状況に係る書類提出の件 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、株式会社さつきの里の第5期の経営状況の報告を受けたもの	報告 受理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
議案第38号	福島県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第39号	泉崎村税特別措置条例の一部を改正する条例	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第40号	泉崎村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第41号	令和5年度泉崎村一般会計補正予算(第3号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第42号	令和5年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第43号	令和5年度泉崎村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第44号	令和5年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第45号	令和5年度泉崎村工業用地造成事業会計補正予算(第1号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第46号	令和5年度泉崎村住宅用地造成事業会計補正予算(第1号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

## 令和4年度泉崎村歳入歳出決算の認定について

### ○一般会計

歳入総額 40億2,071万2,000円  
 歳出総額 36億6,875万3,000円  
 実質収支 3億5,195万9,000円  
 (うち繰越明許 5,087万8,000円)

### ○国民健康保険特別会計

歳入総額 7億6,312万円  
 歳出総額 7億4,437万7,000円  
 実質収支 1,874万3,000円

### ○介護保険特別会計

歳入総額 6億6,762万3,000円  
 歳出総額 6億4,208万8,000円  
 実質収支 2,553万5,000円

### ○後期高齢者特別会計

歳入総額 7,201万2,000円  
 歳出総額 6,970万4,000円  
 実質収支 230万8,000円

### ○農業集落排水処理事業特別会計

歳入総額 1億8,049万3,000円  
 歳出総額 1億7,500万1,000円  
 実質収支 549万2,000円

### 企業会計

#### ○水道事業

収益的収入 2億5,075万円  
 資本的収入 0円  
 収益的支出 2億231万4,000円  
 資本的支出 4,371万7,000円  
 純利益 4,843万6,000円

#### ○工業用地造成事業

収益的収入 150万3,000円  
 資本的収入 0円  
 収益的支出 131万5,000円  
 資本的支出 35万円  
 純利益 18万8,000円

#### ○住宅用地造成事業

収益的収入 3,299万8,000円  
 資本的収入 0円  
 収益的支出 2,208万円  
 資本的支出 422万6,000円  
 純利益 1,091万8,000円

## 保育所の運営について

小針 こども家庭庁は、先日、希望しても認可保育所などに入れない待機児童が、今年4月1日時点で昨年より264人減少したと発表しました。保育所の整備が進んだことや、小学校就学前の子どもが減ったことが要因と見られます。これまでの受皿確保から、保育士の厚い配置など質の向上が今後の施策の焦点となります。

特定の施設だけを希望している方や、求職活動を休止しているなどの理由で集計から除外された隠れ待機児童は16市町村で計437人だったとしています。このことを踏まえ、泉崎村の保育所の運営について伺います。



小針辰男議員

子どものための教育保育給付費負担金として国庫支出金5,782万5,000円、県支出金2,205万5,000円、一般財源5,357万6,000円、合わせて1億3,340万6,000円を拠出し、公私連携型保育所として、社会福祉協議会に委託しております。保育所運営5年委託の5年目になりますが、今後どのような運営をするのか伺います。

**教育課長** 現在の保育所の運営方式であります公私連携型保育所につきましては、平成31年4月1日より令和6年3月31日までの5年間に社会福祉協議会と公私連携型保育所、泉崎村保育所の運営に係る協定を締結しているところでございます。

これまでの約4年半の協定期間中の運営につきまして、締結期間中の運営につきましても、事故や保護者の皆様からの大きなご指摘もなく、村との協定内容を遵守し、良好な運営が行われてきたと評価しているところでございます。また、委託先が村内の事業所ということもあり、保育所に関する事務手続や教育委員会との連絡調整もスムーズに行わ

れてきたところでございます。今後におきましては、子育て環境のさらなる充実を図るとともに、泉崎村社会福祉協議会との連携を保ちながら保育所運営を行っていきたいと考えております。

小針 地域に根差した教育、保育や子育て支援を充実するための幼保連携型認定こども園について概要または、取り組みについて、伺います。

**教育課長** 認定こども園は、

教育と保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の良さを併せ持った施設となります。村におきましては、進行しつつある少子化に伴い、幼稚園においては園児の減少により空き教室ができていく状況にあります。一方で、保育所の入所状況については定員を超過する年もあるなど、村が目指す待機児童ゼロに届かない時期も発生する状況となっております。このような状況から、来年度に予定しております子ども・子

育て支援事業計画策定に向け、今年度は小学生以下のお子さんのいる保護者の方を対象にニーズ調査を行う予定としております。今後保育所及び幼稚園の運営方法につきましては、幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地域採用型など、認定こども園には幾つかの運営方法がございますので、今後の出生数やニーズ調査の結果を踏まえ、運営方法と併せ施設整備のための交付金の活用についても検討を重ねてまいりたいと考えております。

小針 幼稚園の空き教室などの様に活用していく方針なのか、伺います。

**教育課長** 現在の幼稚園の空き教室の状況についてご説明いたします。幼稚園は全10教室でございます。そのうち空き教室となっておりますのが2教室ほどでございます。内訳としまして、年少クラスが1教室、年中教室が1教室。ただ、2教室空いておりますが、ただいま預かり保育の方でその

教室を使用しておりますので、現在は空き教室となつていない部屋はそういった形で利用している状況です。

小針 ゼロ歳から1歳児まで1名に対して3.3㎡、2歳から5歳児1名に対して1.98㎡との設置基準が設けられています。安全確保の徹底や明るい環境での育成に努め、ゼロ歳児16名、1歳児23名、2歳児29名、合計68名を預かっている現況です。現在の保育所は、延床面積や保育士は不足しております。待機児童の解消に向けた取り組みを伺います。

**教育課長** 現在、泉崎村保育所において、入所待ちとなつております児童につきましましては、ゼロ歳児が3名でございます。1歳児、2歳児の待機児童はおりません。なお、ゼロ歳児は定員10名に対し、現在9名入所している状況となっております。入所待ちの3名につきましては、10月から保育士1名を増やすことにより入所待ちが解消される見込みとなっております。

## 太田川地区の道路 ・側溝について

野崎 太田川地区の道路が狭く、交通量が多いという現実があり、現時点では事故は無いものの今後の安全面について伺う。

あわせて居平地区の両側の側溝が結構深く、転落事故や車両通行の安全性を高めるために、グレーチングや蓋板的なものを設置する考えはあるのか伺う。

建設水道課長 居平地区の道路の安全面について昨年度に太田川区会から要望もあり、今年度の実施になるが安全対策の一つとして、小林商店付近T字路や太田川公民館付近の区画線が消えているので、その引き直しを予定している。



野崎 隆 議員

また、居平地区ではありませんが、同じ太田川地区では、白河東西運輸付近十字路の区画線の引き直しも予定している。今後についても地域からの要望等を踏まえながら、少しでも安全の向上が図れるよう取り組んでいきたいと思えます。

続いて居平地区の側溝についてですが、議員の質問のとおり両側とも蓋やグレーチングが無い状態であります。集落から白河市小田川方面に向かう右側については、広く深い側溝であり、さらに側溝の住宅側については、ほぼ全体が石垣となっている所や石垣と塀が一体的になっている。住宅側の擁壁などと一体になっているので蓋やグレーチングを載せる溝の部分が無いなど、まちまちの状態であります。グレーチングや蓋があれば歩行者や車の通行において転落防止など安全性が上がるのは必然であると考えますが、工事となると大幅な改良が必要になると思われます。以上のことから今後につきましては地域の要望や意見などを踏まえながら安全面について

て検討していきたいと思えます。

野崎 地域の皆さんと直に話をし、色々な協議をしていく必要性があるのではないかと。今後いい方向で安全性を高めて頂ければと思います。



## 県道沿いの花壇の整備について

野崎 泉崎村は県道が真ん中に走っていますが、隣接する花壇、地区によっては草花を植えたりしている所もあるんですが、場所によっては個人的に対応している

現実もあります。毎回の草刈りや整備を個人的にやっていたらいい所もありません。個人的にやっている方は、子どもたちの通学路などで草が伸び視界が悪くなると危険なのでやっていると話を伺ってきました。ぜひ、村としても県道なので勝手にいじる事は出来ないと、県の方と協議して頂き方向性を対応して頂きたい。

建設水道課長 県道沿いの花壇の整備についてですが花壇が植えられていない花壇や緑地帯等につきましては、村内統一クリーンアップ作戦の際に地域の皆様にご協力をお願いしたいです。またクリーンアップにおいて除草を行うのは6月と9月の2回であり、その間やその後については付近の住民の方が個人的に除草をしていただいているところもあると承知しているところでもあります。村においては、年2回実施している福島県県南建設事務所と連絡調整会議において県道沿いの花壇などの話をさせていただいた所です。八丸地区自治

組合や寄井地区もコンクリートで埋められないかと村の話があったことを伝えたとのことです。なお県南建設事務所からは、当該箇所について現地確認してみますとのこと。地域での活用や安全面を踏まえ、県に對し要望等を行っていきたい。

野崎 やはり私が言いたいの安全面です。寄井前の花壇は変則の三叉路です。そこは小学生・中学生等の通学路です。草の伸びが早い、見通しが悪いでは安全が確保できず命に関わる問題も出るかもしれませんので、ぜひ県との協議をよろしくお願いします。





## 議会の進歩と発展

白石 議会は執行者側と市政発展の車の両輪。過去にこの機能が発揮されず、財政破綻を迎えた時があった。自主再建の動きを作れなければ、北海道夕張市と同じことになっていった。過去の教訓を活かしていないのではないか。

行政は村の経済発展推進機関としての役割も強化していかなければならない。議会機能の発展が必要。議会議員の個人の学習を保証し、議会や常任委員会の先進地研修などを通して活動を前進させる必要がある。村長としてどう考えるか。

村長 選挙で選出される議員には、村民から期待が寄せられる。日頃から積極的な議員活動を通してこれに応えていくことが信頼につながると思う。



白石正雄 議員

第28次地方制度調査会が地方議会のあり方に関する方針を出して、各種の改善点や議会改革の取組を指摘している。

新議員には議員必携を熟読されて、意思決定機能・監視機能を発揮していただきたい。議員も役場職員も個人の資質向上は重要なこと。一般職の公務員は定期的な研修が義務付けされているが、特別職には規定がない。公費から議員研修の費用を支出する場合は根拠規定が必要となる。各種委員会での村政課題解決方策の検討は心強い。必要に応じて説明員は出席させる。

## マイナ保険証

白石 本年7月7日、岩手県議会が「健康保険証廃止の中止を求める意見書」を可決した。岩手県保険医協会の調査で、高齢者施設の9割以上が利用者のマイナンバーカード管理ができないと回答。健康保険制度の根幹を破壊する問題だと指摘している。

神奈川県の33の全市町

村も、カードと保険証の一体化について問題があると、意見書を出し、全国保険医団体連合会の調査では、全国693の医療機関でエラー・トラブルがあったとしている。厚生省の調査でも協会けんぽや健康保険組合でマイナンバーカードとの紐づけができない件数が77万件もあった。紐づけ中止の世論が大きくなっている。

住民生活課長 政府は健康保険証を来年秋に廃止し、マイナンバーカードと一体化したマイナ保険証に切り替える方針を維持するとしているが、マイナ保険証にはトラブルが続出し、2009年の消えた年金問題に似ているとの報道もある。国民に対する丁寧な説明と不安解消に努め、自治体の意見を踏まえた制度設計が必要と考えている。各市町村の実態調査が行われ8月末で締め切られた。結果の公表はまだされていない。

白石 国民健康保険証の紙発行は継続する準備はしておいたほうが良いと考える。

## システムの全国統一

白石 行政の電子システムを全国統一する動きが進められているが、その進捗状況と今後の動きについて見解を求める。

総務課長 国が中心となり2025年を目途に、すべての自治体が既存のシステムから標準システムへの移行に向け取り組みを進めている。令和5年度当初予算で電算業務の委託料を計上し、追加補正で準備を進めている。現在村は福島情報処理センターに委託しているが、市町村によつてはTKC計算センターや日立システムなどそれぞれである。

## 水田基盤整備

白石 踏瀬原地区の水田基盤整備事業では、主幹水路の整備は枠外であることが判明し、地権者役員一同落胆しているが、改良区や県などの行政機関での動きについて伺いたい。

## 物価高騰対策

産業経済課長 第一・第二幹線水路については国の補助基準には該当しないことが示された。水田基盤整備採択期間が迫り、また、幹線水路改修事業は受益者負担の割合が高いことから、取り組むことは困難であると考えている。

白石 村としてこれまで低所得者中心の支援を行ってきたが、今後は一般村民対象の支援も必要でないか。北海道ではお米券や牛乳券など地産地消と結んだ支援を行っている。介護医療施設への支援を含めて考えるべきでないか。

保健福祉課長 今年度住民税非課税世帯に一世帯3万円給付。今議会に補正予算を計上、住民税非課税世帯で65歳以上高齢者のみの世帯、障害者のいる世帯、ひとり親世帯に一世帯6千円の給付を行う。

## 商工会について

飛知和 村内の方々、行政の方々また仲間の議員の皆様方には大変お世話になりました。7期目を務めることができず、この場をお借りいたしました。この場をお借りいたします。御礼申し上げます。ありがとうございます。一般質問に入らせていただきます。

一、商工会補助金カットについて私も何十年と商工会にお世話になり現在に至っております。今回お尋ねしたいのは商工会の補助金であります。前々村長時代に財政難の為に400万円の補助金を50万円カットし、長年現状のまま現在に至っていると思えます。



飛知和 良子 議員

商工会も泉崎村の協力を得まして、泉崎村発展のために長年協力して参りました。どうか村長、見直しを考えていただきたいと思えますがいかがでしょうか。

産業経済課長 質問にある商工会補助金カットについては、商工会より申請された金額を審査した上で補助額を定め、交付決定をしている。交付額については、申請額と同額で交付している。以前の状況を確認したところ、平成11年以前は商工業振興事業費として400万円前後の補助金を交付していたが、平成12年以降は350万円が申請され同額を交付しております。今後については、予算編成に向け商工会から事業計画等を提示して頂き、内容等を事前に協議していくことも可能と思われまますので、商工会事務局と詰めていきたいと思えます。

飛知和 将来の商工会をどのように考えているのかお尋ね致します。常日頃、商工会員一同、村には感謝致

しまして、村の発展のために努力しております。しかし世界中、コロナ感染症の多大なる苦勞を数年受け、打撃を受けました。今年になり経済も徐々に戻る昨今であります。世の中も元氣を取り戻す氣配が感じられます。今後、商工会のあるべき姿を村側ではどのように考えているのかお尋ねいたします。

産業経済課長 将来の商工会をどのように考えているかについてであります。現在の商工会の体制を見ますと、会員の減少というより活動規模が小さくなっているのが現状と思われまます。これらの要因といたしましては、経営者の高齢化、人口減少、後継者不足等があげられると思えます。全国的に見ましても、会員数は減少傾向にあり、商工会活動も縮小傾向にあるといった調査結果が出されております。村としましては、村内の活性化を図る上で商工会の存在は必要不可欠と考えております。要因となつて

等は、村といたしましても、あらゆる分野において大きな課題となつております。

村長 私の方からも答弁させていただきます。非常にこの質問に至つた経緯、私分らないわけでありまます。現に、商工会さんの方から補助金についての相談は受けたことはない。事務局及び会長にも確認したところであります。

それから、将来の商工会という質問でありましたが、商工会そのもの、現在100名を超える事業所を抱える立派な組織であり、毎年定期総会も開催されている組織である。その組織自体が、まず、将来自体どういう姿をもつて目指すのかが最も大事なことである。組織自体でよく検討頂き、それに向けて村がどんな支援ができるのか、そういう考え方がなと私は思つている。

組織自体の考えが分からないところで、村方が軽はずみなコメントをするとうわけにはいきませんので、この件については答弁を控えさせていただきます。

飛知和 村長と課長の答弁はよくわかりました。財政再建も終わつたことなので、商工会員の皆様を元氣づける為に質問致しました。村長、よろしく願ひします。





# 議長杯パークゴルフ大会

8月23日(水)

天候にも恵まれ第7回議長杯パークゴルフ大会が8月23日に開催されました。  
多くの方々の参加のもと盛大に行われました。

—成績結果—

- 1位 佐藤 秀一 氏  
2位 石上 光 氏  
3位 有賀 初子 氏

おめでとう  
ございます！



## 経済文教常任委員会報告

9月1日(金)

所管事務調査として、提出されている議案について担当課より詳細な説明を受けました。以前も提案し報告した件であるが第二小学校から児童館に行く通路として八雲ニュータウンの敷地の裾に歩道新設の提案。また、プール野球場の東側山林で行われている工事の内容はなにか？この周りはプール利用者の駐車場が適地と考えられるがどうかという意見が出た。現在の常任委員会委員の任期も9月末であるので経済文教常任委員会は継続審議とはせず、10月1日からは新経済文教常任委員会をお願いすることをお知らせします。

## 第1回泉崎村議会 臨時会報告

会期 令和5年10月5日(木)  
議案等 議会構成について  
他 議案 3件

# 新たな議会の構成決定！

令和5年10月5日(木)に第1回泉崎村議会臨時会が開催され新たな議会構成を審議しました。  
議長、副議長及び各常任委員会等、議会の構成等について審議決定いたしました。

※番号は議席番号です



⑨

野崎 隆 副議長  
経済文教常任委員  
議会運営委員  
白河地方広域市町村圏整備  
組合議会議員



⑩

岡部 英夫 議長  
総務厚生常任委員  
白河地方広域市町村圏整備  
組合議会議員





白石 正雄 議員  
経済文教常任委員



円谷 亮一 議員  
経済文教常任副委員長  
議会運営委員会委員長



木野内 悟 議員  
総務厚生常任委員長



鈴木 義男 議員  
経済文教常任委員長



鈴木 保仁 議員  
総務厚生常任委員



加藤 恵子 議員  
総務厚生常任副委員長  
議会運営委員



長久保 孝行 議員  
総務厚生常任委員会  
議会選出監査委員



安藤 茜 議員  
経済文教常任委員  
議会運営副委員長

議案第47号 泉崎村行政財産使用料条例の一部を改正する条例

使用料の規定の中に埋設管及び短期間の使用(1月に満たない管の使用)に関する項目がないことから新たに追加するため本条例の所要の改正を行うもの

議案第48号 泉崎村監査委員の選任につき  
同意を求めることについて

議案第49号 泉崎村監査委員の選任につき  
同意を求めることについて



議会選任監査委員

住 所 踏瀬字長峯  
氏 名 長久保 孝行



代表監査委員

住 所 踏瀬字踏瀬  
氏 名 箭内 達秀

\* 次期定例会の予定 \*

開会12月1日(金)

一般質問12月5・6日(火・水) / 議案審議12月8日(金)(予定)

### 議長挨拶

村民の皆様には、日ごろから村議会に対しまして、格別のご理解、ご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

この度、令和5年第1回泉崎村議会臨時会において、議員の皆様のご推挙をいただき、議長の要職に就任することになりました。身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さを感じているところでございます。

今回の泉崎村の議会議員選挙は新人の方々が5名。その中でも泉崎村議会史上初めての女性議員が2名という、近隣市町村議会においても注目される議会が誕生したと思っております。

新しい議員の方たちが1日も早くスムーズな議会活動が行えるように議会の改革を共に行っていきたくと考えております。そして泉崎村議会がさらに活発になるよう、また今後とも議会として村政の発展と住民福祉の向上を目指して尽力する覚悟でございます。

関係各位のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

泉崎村議会議長

岡部 英夫



## 4年間よろしくお願いたします

### 編集後記

日毎に秋も深まり紅葉の美しい季節。食欲・スポーツ・芸術・文化の秋と様々ですが、皆様はどんな秋をお過ごしでしょうか。私はもっぱら食欲の秋でしょうか。(笑)

先日、中学校の文化活動でもある白樺祭を見学してきました。各学年テーマ毎に発表。一年生はダーツの旅を某テレビ番組風に、二年生は9月に行った職場体験での発表をしました。どちらも映像を使い笑いありの楽しい発表でした。三年生は修学旅行で観劇したライオンキングを迫力のある演技で、大変素晴らしかったです。お蔭様で文化の秋を満喫させて頂きました。

(文責 加藤)

編集・発行責任者

議長 岡部 英夫

編集委員会

委員長 加藤 恵子

副委員長 円谷 亮一

委員 白石 正雄

委員 鈴木 義男

委員 木野内 悟